

# Activity Report 2022

京都府立農業大学校 活動記録



## 目次

特徴	1	各種資格・免許の取得	16
目的、組織	2	地域交流、販売実習	17
農学科	3	研修科	19
令和4年度 学校行事	7	農大マルシェ	21
学生主体性開発プログラム	12	知事と行き活きトーク	22
就農・就業に向けた取組、卒業生の進路	13	卒業生のスマイル	23
特別講座	15		

## 本校の特徴

### ① しっかりとした生産能力を身につけることができます。

豊かな自然に囲まれた環境で、農業生産の専門的知識を中心としたカリキュラムです。農家や農業法人への派遣実習、インターンシップを行います。

### ② 現実的な経営能力を身につけることができます。

農家・農業法人と連携した経営分析、市場現場や販売活動を通してのマーケティング経験を行います。

### ③ 幅広い視野と強固な実践力を身につけることができます。

実習を中心としたカリキュラムで実践力を身につけるとともに、現場と連携した座学によって幅広い視野の現実的な知識と方法論を習得することができます。

### ④ 社会人として不可欠なコミュニケーション能力を身につけることができます。

寮生活や地域活動を通して、幅広い人間関係とコミュニケーション能力を身につけることができます。

### ⑤ 在学中に就農などに必要な資格等を取得することができます。

農業簿記検定試験や狩猟免許等の就農に有利となる資格を取得するための講義を受講することができます。

### ⑥ 全寮制での生活を通して、規則正しい生活が身につく、豊かな人間性が獲得でき、幅広い人間関係を構築することができます。

### ⑦ 卒業後も、府内7箇所にある京都府農業改良普及センターが就農した卒業生を密着して支援します。

### ⑧ 授業料・入学料の免除を受けることができます。

一定の条件を満たす者は、授業料及び入学料相当額の貸与を受けることができ、卒業後5年間京都府内で就農(雇用就農を含む)した場合は、全額、返還が免除されます。



## 目的

農業を志す方や農業者に対し、農業に関する技術や知識を習得していただくための教育や研修を行うことにより、農業の担い手となる人材を養成します。

## 組織

### 農学科 (2年制)

農業の担い手を養成するための実践的な教育

○野菜経営コース ○茶業経営コース

■ 修学年数・定員 2年(全寮制)・1学年20人

■ 教育内容 収益性の高い京野菜や宇治茶生産の担い手となる人材を養成するため、実践的な栽培技術や経営手法を習得するための授業を行っています。

教養科目	国語ⅠⅡ 情報処理ⅠⅡ 農業基礎	専攻科目 野菜経営コース	園芸演習、葉根菜類 果菜類、花き類 園芸施設概論ⅠⅡ 園芸経営ⅠⅡ
	共通科目		農業簿記、経営分析 植物生理ⅠⅡ、農薬基礎、作物概論 園芸概論(野菜・花き)、茶業概論 農業経営、作物保護 農業機械、農業機械操作論 土壌肥料、農産加工・調理 農学実験、就農計画、農政時事 気象学、スマート農業、市場流通論、 マーケティング論 農業生産工程管理(GAP) 農業生産工程管理(GAP)演習 主体性開発プログラム
			実習 共通

### 研修科 (短期)

多様な担い手を養成するための研修講座等

○ステップイン講座 ○農業機械士養成研修  
○農業経営力向上講座 ○緑の学園

# 農学科1年生

## ●基本実習

農業に必要な基本的な作業・操作・注意事項等を学びます。



実習で日常的に使用する鍬の使い方を学び、畝を立てました。



トッパークーの使い方、使用上の注意点を学びました。

## ●水稻栽培実習



日本の農業の基礎である水稻について、共通科目として一連の管理作業を学びます。田植機、コンバイン運転も全員が経験しました。



## ●農業機械操作



農業機械の構造、取扱方法等を学びます。トラクターの運転方法を学び、練習しました。

## ●農産加工・調理



農産物の基礎的な加工方法を学びます。農大の野菜を使って調理実習も行いました。

## 野菜経営コース

主要野菜の栽培、出荷の実践を通じて栽培技術の習得と経営感覚を養います。



ほ場準備、マルチ張りです。



大きく育った作物の整枝、誘引作業



ダイコンの収穫中



ビニールの張替も学びます。



雪かきもハウス管理のため重要です。



キュウリの接ぎ木作業。

# 農学科2年生

## 野菜経営コース

### 施設野菜 グループ

養液栽培など施設園芸  
に係る基礎技術を学び  
ました



### 伝統野菜 グループ

京の伝統野菜を中心に、  
広く一般野菜の技術も  
学びました



### 露地野菜 グループ

露地野菜を中心としな  
がら施設栽培の技術も  
学びました



### 野菜・花き グループ

野菜だけでなく花の栽  
培技術についても学び  
ました



## 茶業経営コース



2年生が常用型摘採機でお茶の収穫。  
1年生のお手本になれたかな。



実践プロジェクトで露天と直掛け被覆の違いを調査しました。



可搬型摘採機でお茶の収穫。息ぴったり。



皆で力を合わせて被覆棚の後片付け。



お茶の形を作る精揉工程です。  
手に取ってお茶の状態を確認します。



一生懸命作ったお茶の袋詰め。  
一袋ずつ丁寧に作業します。

# 令和4年度 学校行事等

## 入学式 令和4年4月8日

野菜経営コース16名、茶業経営コース3名 計19名の新入生が農大生活をスタートさせました。



## 歓迎スポーツ大会 令和4年4月14日

新1年生と在校生がバレーボールで汗を流し、とても盛り上がり新1年生の緊張もほぐれました。



## 東海・近畿スポーツ大会 令和4年5月26日・27日

3年振りに愛知県で大会が開かれ、東海近畿地域から6校が参加し各種目で熱戦が繰り広げられました。本校はバレーボール、バドミントン、卓球に参加し好成績を収めました。







全員でパチリ



卓球チーム



バレーボールチーム



バドミントンチーム

## 農大マルシェ・知事との行き活きトーク 令和4年7月23日

農業大学校を多くの方々や入学希望者に知っていただき、農業の魅力に触れていただくため、「農大マルシェ」を開催しました。来場者数 約550人。

開催後は西脇知事との行き活きトークに出演し、農大生活や将来の夢について語りました。

※詳細はP21.22

## 防災訓練 令和4年9月30日

寮から出火したことを想定した避難訓練を実施した後、消火訓練も行いました。



## 農作業安全講習 令和4年10月4日

農作業による事故を未然に防ぐため、京都府農業機械士協議会から講師を招き、安全な機械の使い方や事故防止対策を再確認しました。



## 体育祭 令和4年10月6日

各専攻に分かれ対抗戦で楽しく汗を流しました。スポーツの秋満喫！



## 意見発表会・プロジェクト計画発表会 令和4年11月11日・令和5年1月16日

11/11の意見発表会では1年生が農業等に関して、課題や興味があることを発表し、1/16には来年度の実践プロジェクト計画について発表しました。



## 東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会 令和5年1月17・18日

兵庫県で開催され、校内で選抜された代表2名が参加し、2年生は1年間取り組んできた実践プロジェクトの成果を、1年生はこれから取り組むプロジェクトへの思いと卒業後の夢を堂々と発表しました。



## プロジェクト成果発表会 令和5年2月22日

2年生が1年間取り組んできた実践プロジェクトの成果を発表しました。



### 令和4年度 実践プロジェクト課題一覧

コース	専攻	氏名	発表課題名
野菜経営	施設野菜	池島 惟一	減農薬栽培をするために
		井上はるな	高品質トマトの周年栽培
		尾谷 咲哉	メロン栽培後の後期作付け品目の検討と補完品目としてのマクワウリの調査
		西田 裕一	高糖度トマトの栽培方法の検討
	伝統野菜	寺岡 凪往	京野菜の栽培方法習得のために
		永島 柊	水稻を軸とした経営
		林 虎之介	京の伝統野菜とサツマイモ
	野菜・花き	伊丹 大護	マイナー品目を織り交ぜた農業経営
		植村 萌加	ナスをメインとした野菜・花きの複合経営
		大邊 綾乃	ミニトマトの消費動向及び経営収支の把握と補完品目の選定
		山口 颯真	物日に向けた花栽培とバラの周年栽培
	露地野菜	村山 晴斗	ナス栽培で売上一位
山本 仁愛		万願寺トウガラシを中心とした野菜栽培	
劉 成月		安定した利益が出せる栽培	
茶業経営	茶業	中西 健太	美味しいかぶせ茶の被覆方法と野菜たち
		藤村 颯人	お茶をメインとした複合経営
		松浦 赤樹	お茶と野菜の複合経営

## 知事表敬訪問(令和4年度卒業生) 令和5年3月3日

卒業前に農大を代表して6名が知事に報告を行いました。



## 卒業式 令和5年3月13日

農学科2学年17名が卒業の日を迎えました。  
御家族はじめ関係機関の方々等多くの人が卒業をお祝いしました。



# 学生主体性開発プログラム

当校ではJICAが採用しているPBL(Project Based Learning)手法を参考にした「学生主体性開発プログラム」を6年前から導入しています。

このプログラムには大きく2つのねらいがあり、①農業経営者あるいは組織の構成員として仕事を円滑に進める能力と②組織の内外で他者と協力しながら目標達成する能力を養うことです。



## 【計画検討会及び活動】

販売チームと広報チームの2つに分かれ今年度の計画を立案・実践しました。

令和4年度は販売の現状と課題、解決策等について取り組み農大の直売所「みのりの館」の看板作成、野菜のBOX販売等を実施しました。



# 就農・就業に向けた取組

## 農家派遣実習

1年生18名が、各自の出身地を中心に優れた農業経営現場での農作業を体験しました。  
先進農家、農業法人の指導の下で実習を受け、幅広い生産技術や経営を学ぶことができました。

時期：10月11日～10月21日

農家派遣先：(株)渋谷農園、(株)椋本宮農ほか個人農家様



## 市場見学 11月1日

京都市中央市場でセリや市場の見学をし、市場の概要、情勢等の説明を受けました。  
高品質な農産物生産の出荷形態や市場流通の仕組み等の知識を深めました。



## スマート農業視察 11月1日

農林センターで万願寺トウガラシの最新の自動栽培管理装置について説明を受け、栽培の様子や装置を見学しました。



## 府内先進地(農業士)視察 11月18日

中丹地域農業士会と共催で「農大生現地見学会」を開催しました。  
今年度は舞鶴市の農地を訪問し、指導農業士から就農経緯、経営の考え方等をお聞きしました。  
この取組は「農業後継者の確保・育成」を目的に活動している農業士会事業に位置づけられ開催しているものです。



## 農業法人等への就農体験実習

生産や農業経営の現場を実体験するとともに、就業を前提とした実習を行うことにより、雇用側に学生の  
技量や農業に対する姿勢を把握してもらい雇用へつなげることを目的に行っています。

農業法人・農家への体験実習:延べ30名

### 体験実習先

(有)アグリランドさんとよ、淀苗芋七、(株)エッチワン、(株)京都杉田農園、黒川花卉園芸、  
こと京都(株)、柴喜農園、(株)渋谷農園、(有)誠武農園、(合)とみた農園、長澤農園、(株)農夢、  
(株)古川製茶、(株)ふるさと農園、ロックファーム京都(株)、(株)八百一の郷ほか

## 令和4年度卒業生の進路

卒業生17名が新たな道へ進みました。京都府の農業の担い手として、農大で培った力を存分に発揮して  
ください。

### 農業関係就職率94% 就農・就業率76%

農業法人等への 就業	12名	(有)アグリランドさんとよ、淀苗芋七、(株)エッチワン、黒川花卉園芸、 柴喜農園、(株)渋谷農園、(有)誠武農園、(合)とみた農園、長澤農園、 (株)農夢、(株)古川製茶、(株)ふるさと農園
農業関係就職	3名	JA京都市、志摩機械(株)、京都府職員
自営	1名	京丹後市
その他	1名	留学

## 特別講座

就農の姿を自分らしく創造していくための様々な特別授業(キャリアデザイン)を開講しました。

### 就職セミナー 5月12・17日 / 2月16・27日

就職活動に必要な知識を学び、面接マナーの実践も行いました。  
これで就職活動もバッチリです。



### POP講座 6月16日

販売アップにつながるPOP作りを学びました。  
楽しいPOPができたかな。



### 鳥獣被害対策講座 8月8日

鳥獣被害に実態を学び、わな猟などの  
仕掛けを学びました。

### 人権研修 9月12日

ハラスメント防止、民法改正による成年年齢引き下げの影響等を  
学びました。



### 雇用就農人材 1月10日

先進農家さんから農家になったきっかけから現在の状況など、  
就農への心構えなど大切な話を聞かせていただきました。

### 農業支援制度 1月27日

就農のための国・府などの支援制度を学びました。



### 有機農業 2月13日

国の施策と実践での土作りの重要性について学びました。

### 就農学習(農業年金制度等) 2月27日

卒業間近の2学年が就農・就業後の農業年金制度等を学びました。





# 各種資格・免許の取得

## 小型フォークリフト運転技能講習

4月18、19日



## 草刈検定

11月9日



## 小型車両建設機械運転特別講習

12月5、6日



## 大型特殊自動車(農耕者)免許取得

2月20日



## 資格取得受験状況

種 別	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	受 験	合 格	合 格	合 格
日本農業技術検定2級	28	9	7	0
日本農業技術検定3級	14	14	14	11
農業簿記検定2級	1	0	0	-
農業簿記検定3級	29	19	6	4
小型車両系建設機械運転技能	19	19	10	16
小型フォークリフト運転技能	13	13	12	11
大型特殊自動車運転免許試験	21	21	18	14
農業機械士認定	22	22	18	14
狩猟免許(わな猟)	5	3	2	8
毒物劇物取扱者	2	0	0	-
危険物取扱者試験(乙種第4類)	11	3	2	0

# 地域交流、販売実習

地域との交流活動を行いながら、農業に触れたり、農大を知ってもらう活動を行っています。また、お客さんとの対話を大切にしながら、自分たちが育てた野菜やお茶を販売しました。

## FMいかる パーソナリティー

地元のラジオ放送局  
毎週木曜日17時30分～  
「農大生の時間」放送中

農大生が順番にパーソナリティーを務め、農大の様子や自分が育てている作物の話など、農業の話を中心に和気あいあいと放送しています。



## ちゃぐりんフェスタ 7月30日

地域のイベントで多くの方が来校され、収穫体験をしていただきました。



## 中学生職場体験 9月7・8日

地元の中学生2名が職場体験で農大へ。実習補助お茶の授業補助、事務を体験してもらいました。



## 第31回あやべ産業祭 10月2日

3年ぶりに開催されたあやべ産業祭。農大の野菜とお茶を販売し多くの市民の方とふれあいました。



## 豊里文化祭販売実習 11月13日

地元文化祭で農大野菜を販売。完売御礼。



## 京都府総合庁舎販売 1月29日・12月1日

福知山庁舎・舞鶴庁舎で販売実習を行いました。



## 府庁生協販売 12月7日

2年ぶりに京都府庁での販売実習は大盛況。



# 研修科

## 令和4年度 研修科の講座

### ● 就農ステップイン講座

**内容** 本格的に就農を目指している方々が、野菜の栽培技術を実習し、就農に必要な知識や情報を学ぶ講座。

**時期** 令和4年8月28日(日)、9月11日(日)、9月25日(日)、10月16日(日)、11月13日(日) 全5日間

**対象者** 就農のきっかけづくりや数年後に就農を目指している方

**受講者** 20名

府内各地から受講された方々は、聖護院ダイコン、ホウレンソウ、ハクサイなどの種まきから収穫までの栽培技術、農業機械の扱い方、新規就農者の体験談等、実習と座学を合わせた講座を熱心に受講され、就農を目指す仲間との交流を深めました。



苗の定植作業



ホウレンソウの収穫



トラクターの安全使用と運転方法を学びました。



立派な聖護院ダイコンができました

## ● 緑の学園

**内容** 府内の農業系の高校の学生を対象に農業の担い手としての意識を高めることを目的とした講座。農業大学校では「農業機械部門」を実施。

**時期** 令和4年8月5日



高校生が農業機械の構造や安全運転方法を学びました。

## ● 農業機械士養成研修

**内容** 農業に従事している方などを対象に農業機械に関する安全知識、整備技術、運転及び利用技術を習得する講座。

**時期** 令和4年11月1日～11月10日



## ● 農業経営力向上講座

**内容** 新規就農者等を対象に農業経営の考え方や基本的な知識を習得し、経営力向上を目指す講座。

**時期** 令和5年1月20日、1月26日、2月1日、2月20日、2月21日



# 農大マルシェ2022

農大と学生自治会は、広く府民の皆さまや入学志望者に農大や農業の魅力を知っていただくため、農大産の野菜・茶・花や地域のこだわり加工品等を販売する「農大マルシェ 2022」を7月23日(土)に開催しました。当日は約550人の方々に来校いただき、とても賑わいました。



朝から多くの方が詰めかけてくださいました。



開会式のテープカット



販売エリアではたくさんの方が農大生の作った新鮮な野菜を買い求めてくださいました。



知事も農大のお茶を購入。



大人気！学生自治会主催のミニトマトすくい



収穫体験では大人から子供たちまで多くの方に参加いただきました。



同窓会、教育後援会、高校、のら×たんゆらジェンヌなどに出店いただき、賑やかなマルシェとなりました。

## 知事と行き活きトーク

午後は西脇知事と京都府の農業の担い手として、在校生・卒業生が農業への思いや将来の夢について語り、熱く和やかな時間を過ごしました。





# 令和4年3月卒業生



## 西原 大祐さん

京都府南部の水稻・野菜農家さんに就職し、現在、トマト、オクラ、水稻を中心にハウレンソウ、小松菜などの栽培管理を担当しています。

農大在学中は、フルティカ(中玉トマト)、水稻、コギク、ネギなどさまざまな野菜・花を栽培し、資格試験にも積極的に挑戦するなど、土日もほとんど在寮し農業に浸っていました。

今は、パートさんと一緒に仕事をしていますが、2年上の先輩が作物の生育状況を把握し、社長と次の作業について相談しているのを見て、自分も早くそうなりたいと思っています。

緑豊かな恵まれた環境で頑張っていきます。

## 岩尾 咲菜さん 田中 光莉さん

舞鶴市にある農業生産を行う株式会社から、2人揃って採用してもらい、2人で仲良く働いています。

働き始めた4月は、1年の中で一番の多忙期に当たるため、社長はもちろん周りの従業員さんも忙しくされていたので、ゆっくりと会社の雰囲気慣れていくというよりも、とにかく身体を動かしてできることをやっていくという感じでした。そんな中で不安なこともいっぱいでしたが、2人で相談し励ましながら頑張りました。

最近では、花苗の管理を中心にやっていますが、社長からメロンの養液土耕の試行栽培を2人に任せられたため、勉強しながらやっています。

これからも、「2人が会社に来てくれて良かったわ!」と言ってもらえるよう、知識と技術を身につけながら一所懸命働いていきたいと思っています。







## 碓井 弥生さん

高校時代から有機農業に興味を持ち、在学中も農薬不使用栽培に挑戦していました。将来はキャベツなどの葉菜類を希望していましたが、就職では有機農業をされているところを中心に選び、イチゴ、オクラなど新しい品目に取り組む日々です。

夏は暑いので、朝5時から午後2時までの勤務となっています。早起きに慣れるまでが大変でしたが、今は慣れて楽しいです。

将来は、独立自営就農をして、自分の思い描く農業をしていきたいです。そのために、今は一つ一つの技術をしっかりと身に付けて、苦手な機械作業にも慣れていきたいです。

## 金山 樹さん

私は京都市内の非農家出身、しかも高校は普通科でしたが、農大の2年間では伝統野菜を中心に栽培を経験しました。

今は、ねぎの生産、加工を行う会社の農場部に所属しています。農場がある丹後地域での初めての一人暮らしに加え、連日ねぎほ場での栽培作業に従事しており、苦労もありますが楽しく過ごしています。

在学中も九条ねぎを栽培し、自分なりに病害虫について知っているつもりでしたが、実際のほ場では、自分の知らなかった病害虫が発生するので、防除方法について学び直すことも多いです。

今は、先輩の指導のもと、ベトナム人実習生と一緒に作業をしていますが、早く一人で段取りができるようになりたいです。



# Activity Report 2022



## アクセス



JR山陰本線「綾部駅」下車 北西へ約5キロ  
JR綾部駅からタクシーで約10分



あやへ市民バス JR綾部駅南口から  
「志賀南北線」に乗車「殿貝バス停」下車 徒歩30分  
(※便は1時間に1本の割合です)



舞鶴若狭自動車道「綾部インター」を出て、  
府道77号を南に進み府道74号を西へ、  
豊里小学校を北に折れて岡倉方面に進む



## 京都府立農業大学校

〒623-0221 京都府綾部市位田町松前30  
TEL 0773-48-0321 FAX 0773-48-0322  
E-mail [kyo-nodai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kyo-nodai@pref.kyoto.lg.jp)  
URL <http://www.pref.kyoto.jp/kyonodai/>

